

グリーン四国

四国森林管理局

高知市丸ノ内1丁目3-30

TEL 088-821-2052

FAX 088-821-4834

ホームページアドレス <http://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/>

電子メール shikoku_soumu@rinya.maff.go.jp



四国山の日

No.1143 2015年6月号

林野庁長官感謝状、高知工業高校建築科贈呈

～平成26年度国民の森林(もり)づくり推進功労者～

当局から推薦しました「高知県立高知工業高等学校建築科」に
林野庁長官感謝状が授与されました。 【詳細は2頁】



浅川局長（右）より生徒代表に感謝状贈呈



浅川局長へ、受賞のお礼を述べる生徒代表

「高知県立高知工業高等学校建築科」
 林野庁長官感謝状が贈呈される
 ～平成二六年度国民の森林づくり推進功労者～
 〈総務課・技術普及課〉

五月二七日、国民の森林
 づくり推進功労者として、
 校建築科」への林野庁長官

感謝状の伝達式
 が、高知工業高
 等学校において
 行われ、当局の
 浅川局長より感
 謝状が贈呈され
 ました。

高知工業高
 等学校建築科
 (以下、建築科)
 は、授業の一環
 として、平成
 二〇年度から
 このように、建築科では、

森林管理署管内の工石山
 国有林において、展望台の
 製作を実施しており、平成
 二五年度には、香美市香北
 町からの依頼を受け、江戸
 時代の一六八七年に建立さ
 れた、歴史的建築物「観音
 堂」の建て替えを行い、そ
 の際には、「あり」「ほぞ」
 など木材を接合する部分は
 伝統工法を用いて、人目に
 触れる細部や目に見えない
 部分まで丁寧な作業を行っ
 ています。

毎年、地元高知県産材の
 スギ・ヒノキを活用して、
 木造建築物の製作に取り
 組み、八棟を地域へ提供
 しています。

平成二一年度には、嶺北
 森林管理署管内の工石山
 国有林において、展望台の
 製作を実施しており、平成
 二五年度には、香美市香北
 町からの依頼を受け、江戸
 時代の一六八七年に建立さ
 れた、歴史的建築物「観音
 堂」の建て替えを行い、そ
 の際には、「あり」「ほぞ」
 など木材を接合する部分は
 伝統工法を用いて、人目に
 触れる細部や目に見えない
 部分まで丁寧な作業を行っ
 ています。

この、伝達式の様子も、
 当日、夕方の地元テレビで
 放映され、また、翌日の地
 元新聞に掲載されたり、大
 いに国有林のPRにもなり
 ました。

また、こうした取り組み
 については、当局で毎年
 実施している、四国森林・
 林業研究発表会において
 発表し、地元テレビ局を
 はじめ、地元新聞にも取
 り上げられるなど、国産
 材のPRにも大きく貢献
 しています。

『第一回 木の子ども祭』開催

〈技術普及課〉

五月一日、「第一回木の子ども祭」が、高知県高知市の内緑地（高知城南側）で開催されました。この催しは、木育の視点で、子どもをはじめとする全ての人々が、木と五感でふれあひ、人や自然に対する「思いやり」や「優しさ」を育むことを目的としております。



浅川局長のあいさつ

まず、オープニングセレモニーで浅川局長が「木材は、素晴らしい特性をたくさん備えているので、今日は、改めて木の良さ、素晴らしさをたっぷり体感していただき、木材の

ユニークけん玉（文字けん）



ユニークけん玉

（むしの文字けん）

ターゲットしました。スタート後まもなくして、森林ボランティアの正岡さんの巧みな話術のもと、約五〇名の親子が参加して、ユニークけん玉競争（文字けん玉）が行われ、大人と子どもの優勝者にはそれぞれ賞品が渡されました。なかなか引つかかってくれないむし剣に、全員が一喜一憂しながら、親子で応援し合い、大変微笑ましい光景でした。

また、射的（ゴム鉄砲）

利用にご理解とご協力をお願いします。」と呼び掛け、子ども達のウグイス笛でスレました。なかなか引つかかってくれないむし剣に、全員が一喜一憂しながら、親子で応援し合い、大変微笑ましい光景でした。

一方、四国森林



射的大会、上手く当たるかな

の大会も三回行われ、一位はゴム鉄砲、二位はカエルの鉛筆、三位にはカエルのキーホルダーの賞品がありました。一位になった子どもさんは精巧に作られたゴム鉄砲に大喜びして、大事そうに持ち帰っていました。

当日は日差しが強く、日向では少し汗ばむ陽気でしたが、親子連れはもとより、おじいさん、おばあさんや、日曜日ということもあり、近くで行われていた日曜日や、高知城の観光客も参加され大変な賑わいでした。

各地のたより



「森林環境学習・八面山&三本杭登山体験」
「高校生に森林環境教育」
「ふれあい推進センター」

五月一三日、高知県立四万十高校自然環境コースの一年生七名を対象に、森林環境学習と地域の山の登山を体験することを目的に八面山はちめんざん及び三本杭さんほんぐい登山を実施しました。

四万十高校では毎年、屋久島での自然環境学習を行っており、その予行演習も兼ねたものです。

当日は、季節外れの台風

一過の晴天に恵まれ、生徒はこの日を楽しみにしていたとのことで、新緑の中、新鮮な空気を吸い込んで元



八面山山頂で

気よく出発しました。三本杭山頂を目指して登山の道中では、職員が、アカマツとクロマツの見分け方やミズメの樹皮が、サロンパスの臭いがあること、ブナ等について樹木の名前や特徴を説明しました。



三本杭山頂を目指して

また、ニホンジカによるリュウブ等の樹木の剥皮被害や森林総合研究所四国支所と当センターの共同でのシカ試験地の取り組みについて説明しました。登山開始から二時間程で三本杭に全員到着しました。山頂では、当センターが設置したシカ防護ネットや、ボランティア等によるミヤコザサの移植などによって植生の回復が見られていること等を説